

◆ 今週のコメント

- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は6.41(237例)で先週(6.22)より微増しましたが、第3週(1月16日～22日)の11.05をピークに減少傾向にあります。京都市衛生環境研究所で平成24年に受け付けた感染性胃腸炎の検体から、ノロウイルスGⅡ型が26件、ノロウイルスGⅠ型が1件、アデノウイルス2型が2件、ロタウイルスが2件検出されています。
- ・ マイコプラズマ肺炎の報告が1例あります。全国の定点当たり報告数は0.84で平成23年第49週(12月5日～11日)の1.51をピークに減少していますが、過去10年間の同時期としては最も多くなっています。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は31.70(2,029例)で、先週(38.89)よりもやや減少したものの、依然として警報レベルの「30」を上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症・腸管外アメーバ症) 2例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類: クロイツフェルト・ヤコブ病(古典型) 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点64, 小児科定点37, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	31.70	2029
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.41	237
	② 水痘	0.89	33
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	32
	④ 手足口病	0.41	15
	⑤ 突発性発しん	0.19	7
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5
基幹	マイコプラズマ肺炎	1.00	1

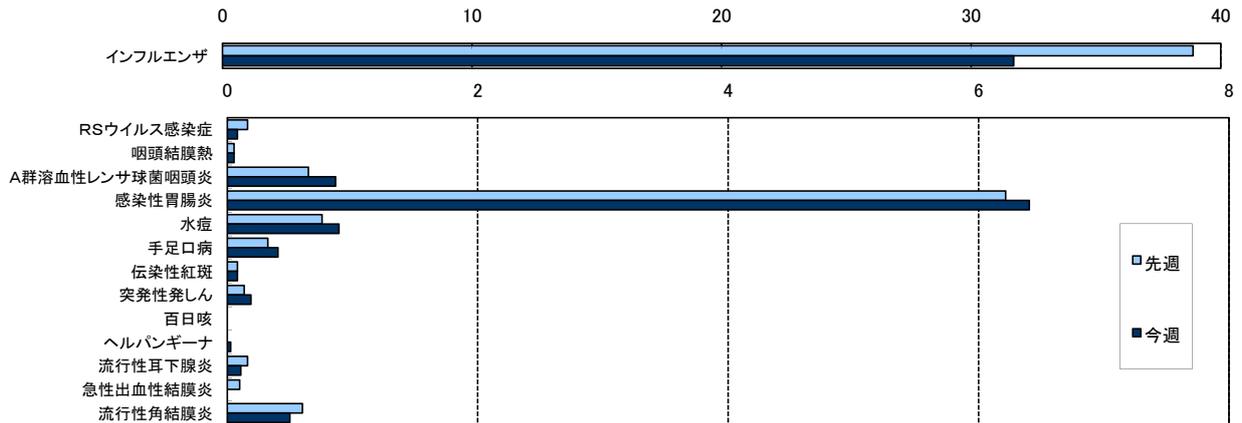
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

(注) 京都市のデータは、平成24年2月16日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

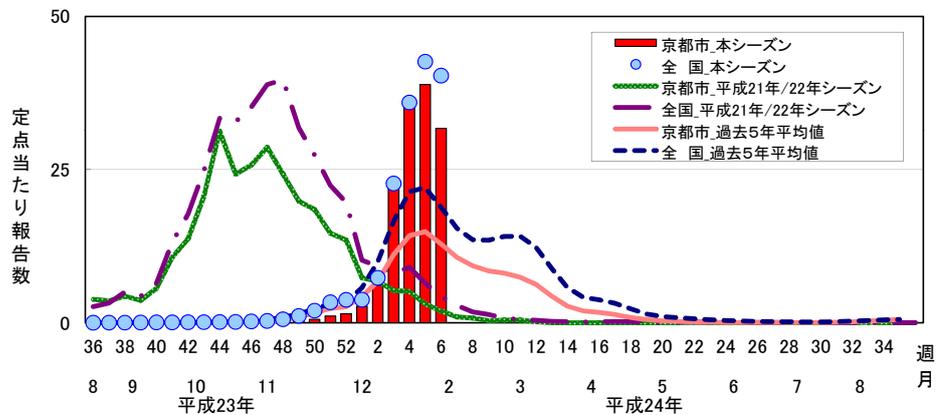
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第6週)と先週(第5週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第2週	393
第3週	1,473
第4週	2,319
第5週	2,489
第6週	2,029
累積報告数(第36週以降)	9,123

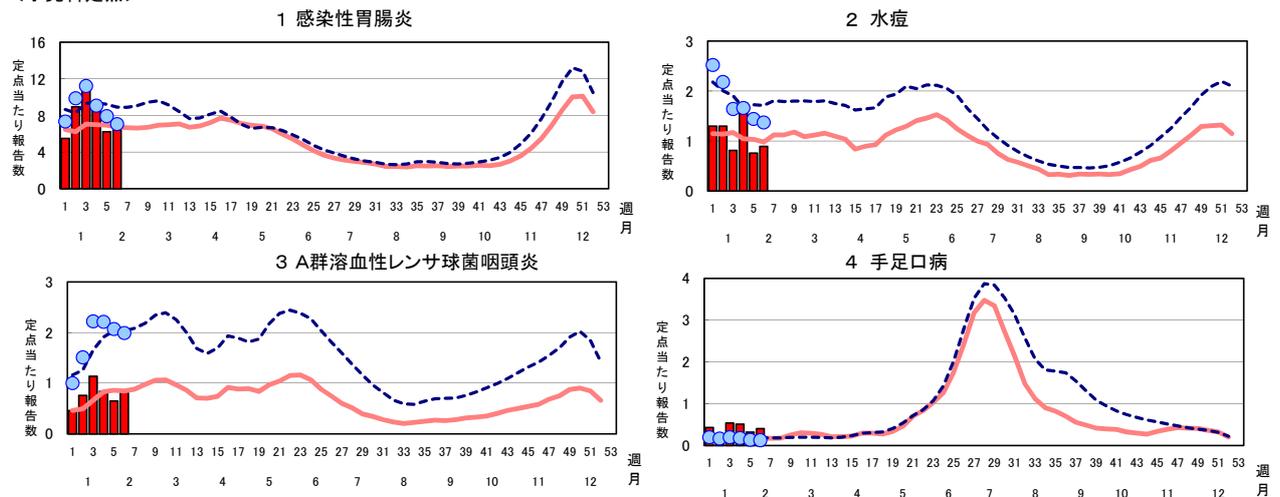


※平成21年/22年シーズンは、新型インフルエンザの発生により、例年と流行傾向が大きく異なるため、別に表記しています。過去5年平均値は、36-52週はH17-H20年及びH22年、1-35週はH18-H21年及びH23年の平均値です。

※京都市のインフルエンザ発生状況の詳細を下記に掲載しています。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000071285.html>

3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>

